

しせつ にゆうしょ かた かんするちようさ
施設に入所している方に関する調査
 しな い にゆうしよしせつ そうふ
(市内の入所施設に送付)

ほけんふくし かん しせつにゆうしよしや ちようさ
保健福祉に関する施設入所者アンケート調査 (案)

ひ 日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚く
 れい もう あ お礼を申し上げます。

このたび、札幌市では、「さっぽろ障がい者プラン2018」の改定や、今後の障がい
 ふくししやく すいしん さんこうしりよう しせつにゆうしよしや じようきよう き
 福祉施策の推進のための参考資料とするため、施設入所者の状況などをお聞きする
 ちようさ おこな 調査を行うことといたしました。

とつぜん ねが きようしゆく しゆし りかい かいとう ねが
 突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い
 いたします。

なお、今回の調査は、札幌市で指定を受けている全ての施設入所支援事業所に、送信
 させていただいたものです。

かいとう ないようとう じようき もくてきが い しよう
 回答いただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。

ご回答にあたって

- 1 回答は別添の「回答票 (エクセルファイル) に入力願います。
- 2 A～Oは、令和元年●月●日時点において、札幌市が援護の実施機関となっ
 ている入所者 (札幌市の障害福祉サービス受給者証を持っている方) について、
 お答えください。
- 3 入所者ごと連番号を付してください (氏名の記入は必要ありません)。
- 4 <直接入力>項目は、該当項目に直接回答を入力してください。
- 5 <コード入力>項目は、該当項目の「コード欄」にコード表「区分」のコー
 ドを入力すると、それぞれの区分が自動入力されます。※書式及び数式等は
 へんこう 変更しないてください。

ご不明な点やお問い合わせは

かぶしがいいしや ほっかいどうにじゅういちせいきそうごうけんきゅうじよ
 株式会社 北海道二十世紀総合研究所
 TEL011-231-3053 / Fax011-231-3143

さっぽろし いたくぎようむ
(札幌市委託業務)

A 年齢区分<直接入力>

令和元年●月●日現在の満年齢を記入してください。

B 性別区分<コード入力>

性別を次の区分により記入してください。

区分	性別
1	男
2	女

C 入所期間区分<コード入力>

入所期間を次の区分により記入してください。

区分	入所期間
1	1年未満
2	1年～3年未満
3	3年～5年未満
4	5年～10年未満
5	10年～20年未満
6	20年～30年未満
7	30年以上

D 障がい等級区分<コード入力>

障がい等級（総合等級）を次の区分により記入してください。

区分	等級	区分	等級
1	身体障害者手帳1級	9	療育手帳Bー
2	身体障害者手帳2級	10	精神障害者保健福祉手帳1級
3	身体障害者手帳3級	11	精神障害者保健福祉手帳2級
4	身体障害者手帳4級	12	精神障害者保健福祉手帳3級
5	身体障害者手帳5級	13	自立支援医療（精神通院医療受給者証）
6	身体障害者手帳6級	14	特定疾病療養受療証
7	療育手帳A	15	重症心身障がい
8	療育手帳B		

<<Dの回答が「1～6」「15」にあてはまる場合のみ記入してください。>>

E 障がい部位区分<コード入力>

障がい部位を次の区分により記入してください。

(複数回答可。主たる障がい部位から順に記入してください。)

区分	部位	区分	部位
1	視覚	9	脳病変による運動機能（移動）
2	聴覚	10	心臓機能
3	平衡機能	11	じん臓機能
4	音声・言語・そしゃく機能	12	呼吸器機能
5	上肢	13	ぼうこう・直腸機能
6	下肢	14	小腸機能
7	体幹	15	免疫機能
8	脳病変による運動機能（上肢）	16	肝臓機能

F 障害者総合支援法による障害支援区分<コード入力>

障害者総合支援法による障害支援区分の認定状況を記入してください。

区分	等級	区分	等級
1	区分1	5	区分5
2	区分2	6	区分6
3	区分3	7	非該当
4	区分4	8	未認定・認定申請中

G 行動区分<コード入力>

よく見られる行動のうち、3まで選んで、次の区分により記入してください。

区分	行動
1	特定の物や人に対する強いこだわり
2	多動または行動の停止
3	パニックや不安定な行動
4	自分の身体を叩いたり傷つけたりする
5	叩いたり蹴ったり器物を壊したりする
6	人に突然抱きつく、断りもなく物を持ってくる
7	ときどき奇声を発することがある
8	突然走っていなくなるような突発的行動
9	過食・反すうなどの食事に関する行動
10	上記のような行動は特にみられない

H～Iは、入所者ご自身の意向や希望をお聞きするものです。可能な限りご本人にご確認のうえ回答してください。

H 施設以外の場所で生活したいと思うか＜コード入力＞

地域生活への移行について次の区分により記入してください。

区分	地域生活移行
1	退所が決まっている【→I・Jへ】
2	退所して施設以外の場所で暮らしたいと思っている（言葉や態度ではっきり示している）【→I・Jへ】
3	施設以外での生活に関心がある・興味を示している【→I・Jへ】
4	退所をしたいと思っていない（言葉や態度ではっきり示している）
5	時によって意向が異なる
6	不明

<<Hの回答が「1」～「3」の場合のみ記入してください。>>

I 希望する居住形態区分＜コード入力＞

希望する居住形態について次の区分により記入してください。

区分	居住形態
1	持ち家
2	民間の賃貸住宅
3	公営住宅、公団住宅
4	福祉ホーム、グループホーム等
5	その他
6	不明

<<Hの回答が「1」～「3」の場合のみ記入してください。>>

J 希望する日中活動区分＜コード入力＞

希望する日中活動について次の区分により記入してください。

区分	日中活動
1	通所施設で訓練や作業をしたい
2	作業所等で働きたい
3	一般就労したい
4	その他
5	不明

K～Nは、入所者の意向とは別に客観的に回答してください。

K 退所の可能性区分<コード入力>

退所の可能性について次の区分により記入してください。

区分	退所の可能性
1	退所が決まっている ⇒L・M・Nへ
2	居住先・支援が整えば、現在の状況でも退所が可能 ⇒L・M・Nへ
3	現時点では引き続き施設での訓練が必要であるが、長期的（令和2年度末まで）には可能性がある
4	現時点では退所の可能性がない・見通しが立たない

<<Kの回答が「1」「2」の場合のみ記入してください。>>

L 退所後の訪問系サービス区分<コード入力>

退所後に必要と思われる訪問系サービスについて次の区分により記入してください。（複数回答可）

区分	訪問系サービス
1	居宅介護・重度訪問介護
2	同行援護・行動援護・移動支援
3	短期入所・日中一時支援
4	その他

<<Kの回答が「1」「2」の場合のみ記入してください。>>

M 退所後の日中活動区分<コード入力>

退所後にふさわしいと思われる日中活動について次の区分により記入してください。

区分	日中活動
1	生活介護
2	自立訓練
3	就労移行支援
4	就労継続支援（A型）
5	就労継続支援（B型）
6	地域活動支援センター・地域共同作業所
7	一般就労
8	その他

<<Kの回答が「1」「2」の場合のみ記入してください。>>

N 退所後のその他のサービス区分<コード入力>

退所後に必要となるその他のサービスについて次の区分により記入してください。

(複数回答可)

区分	その他のサービス
1	相談支援事業（日常の生活相談など）
2	入居等支援事業（入居時・入居後の支援）
3	理学療法・作業療法
4	職業訓練やジョブコーチ・ジョブサポーター
5	補装具・日常生活用具
6	自立生活援助
7	成年後見人
8	その他

<<全ての入所者について記入してください。>>

O 退所に向けての問題点（不安な点）区分<コード入力>

退所に向けての問題点（不安な点）について次の区分で記入してください。（複数回答可）

(1) 本人の状態像

区分	退所に向けての問題点（不安な点）
1	退所に向けた意識が乏しい
2	環境変化への不安が強い
3	（援助者等との）対人関係の形成が困難（コミュニケーションがうまく取れないなど）
4	介護や見守り等の支援が常時必要である
5	医療的な面で注意が必要である
6	家事（調理、洗濯等）や金銭管理ができない
7	地域生活の経験が乏しく、IADLを高める訓練が必要である
8	退所したいかどうか、本人の意思が確認できない
9	1～8以外の問題点がある
10	特に問題はない

(2) 家族の状況

区分	退所に向けての問題点（不安な点）
1	家族がいない（家族によるサポートがまったく期待できない）
2	家族が退所に反対している
3	本人の退所に対する家族の考え方は不明である
4	1～3 以外の問題点がある
5	退所に向けて、家族の積極的なかわり（支援）が期待できる

(3) 地域の状況（地域生活を支える周辺環境）

区分	退所に向けての問題点（不安な点）
1	住まいの確保が困難（本人の障がいにあったバリアフリー住宅が見つからない、グループホーム等に空きがない、保証人が見つからないなど）
2	訪問系サービス（居宅介護など）を十分に受けることができないという不安がある
3	外出時の支援を十分に受けることができないという不安がある
4	夜間や緊急時の支援を十分に受けることができないという不安がある
5	就職先や日中活動の場を見つけることが難しい
6	退所後のサービスの調整や日常的な相談を行ってくれる事業所などが見つからない
7	退所時のサポートをしてくれる支援者を確保することが難しい
8	一度退所すると再入所できないのではないかと不安がある
9	生活費が十分でない
10	金銭管理や契約などの面で不安がある（財産や権利が守れるかどうか不安がある）
11	服薬管理などを含めた適切な医療ケアを受けられるかどうか不安がある
12	後見人がいないため、不安がある
13	1～12 以外の問題点がある
14	特に問題はない

以下の区分は、施設の取組などに関する設問です。

P 市外入所者の退所後の生活希望区分＜直接入力＞

市外からの入所者（援護の実施機関が札幌市以外の人）のうち、退所後も札幌市で生活することを希望している人は、何人いますか。（市外からの入所者数と併せてお答えください。）

Q 退所に向けての支援区分<コード入力>

入所者の退所に向けて行っている支援について次の区分で記入してください。(複数回答可)

区分	退所に向けての支援
1	入所者に対して、定期的に退所に関する説明、調査等をしている
2	施設内において、退所支援実習等（退所後の生活の体験実習）を実施している
3	施設外において、退所支援実習等（退所後の生活の体験実習）を実施している
4	退所予定者に対して、（退所後の生活に関する）相談支援を実施している
5	退所者に対して、（退所後の生活に関する）相談支援を実施している
6	相談支援事業所、サービス提供事業所などの関係機関と定期的な連絡をするなど連携を取っている
7	1～6 以外の支援を行っている

R 退所目標数区分<直接入力>

今後、毎年1年間の退所者の目標数を記入してください。

S 自由記載<直接入力>

入所者の地域生活移行について、工夫していること、課題に感じていること、ご意見などがあれば、ご自由に記入してください。

T 貴施設の待機人数<直接入力>

貴施設の待機人数を記入してください。